

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター青い鳥		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	112	(回答者数) 66
○従業員評価実施期間	令和6年10月4日		～ 令和6年10月25日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが楽しく通える環境への配慮。	活動プログラムの質の向上	「あそび」をテーマにより、ねらいにそった楽しめる活動のための研修の実施
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	課題等の保護者へのFB	成長の共感を優先する意識が課題の共有への意識が向きにくい。	課題の見立てや共有を図る技術の向上
2	幼稚園、保育園等との交流	交流の方法やスタイルねらい等ニーズが様々で実施方法が定まらない	ねらい目的を整理し、次年度以降で実施方法を検討していく
3	取り組みや制度など保護者への周知の不足	周知する項目や機会が定まっていない	周知の必要なことを整理し伝えていく

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター青い鳥

公表日 令和6年2月1

利用児童数 112

回収数 66

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	66	0	0	0	●教室のテーブルの角の座になった子どもはテーブルの脚に本人の足が当たるので、痛そうだなと 気になります ●作業をする際にもスペースがないので、角を埋 めるタイプの三角テーブルがあるといいのかな？ と思います。 ●いつ行ってもとてきれいで気持ちがいい ●おもちゃの消毒がされているか少し気になり ます（いつもヨグシだらけにして申し訳ありませ ん） ●十分に目が行き届いていると感じます ●すごく心地良いと思います ●施設内も広くいろいろなお設備があるので、子供 も毎回来しく通えています。 ●先生方に無理のないようにお話しいたします	●教室での席の配置は、いただいたご意 見を参考に配慮していきます。 ●作業時のスペースを確保ができるよう に配慮します。テーブルの追加の配置に ついてはご意見を参考に検討します。 ●おもちゃの消毒については毎日、消毒 後に消毒と乾燥を実施しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	61	2	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	65	1	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	66	0	0	0		
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	60	2	0	4	●身体の低緊張があるので、理学療法士 さんの意見も聞いてみたかったです。 ●もう少し課題が難しくてもいいのかな と思う所出すぎるとつまらないから行き たくないと言出したりするので、でも 集団なので個別が無理そうならしょうが ない事だなどと思います。 一人一人に合ったサポート等を、して頂 いていると感じております。 ●普段の情報共有して、子供をしっかり 見つけてからフォローしてもらうことは感 心しました。 ●保育園からも青い鳥さんへ訪問などが あるといいなと思いました ●子供のその時の機嫌や気分に合わせて 顔機応変に対応していただきありがとうございます。	●理学療法士の配置については、就職希望 者がいれば前向きに検討したいと思っ ています。 ●子供の状態や特性に合った課題設定は 実行錯誤しながらよりあった課題を模索 しています。子供の状況については保護 者とも情報交換しながら行っていきたく いのでご連絡ください。 ●保育園等からの訪問も、依頼があれば お受けしています。個別にご相談くださ い。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	61	0	0	5		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	65	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。	62	0	0	4		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	64	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	57	3	0	6		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	33	8	12	13		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	66	0	0	0	●ペアレントトレーニングや勉強会が充 実している ●青い鳥での様子をもっと知れたらと思 います ●十分だと思えます。 ●特別な給食が出た時の写真を福祉村ブ ログに載せて欲しいです。 ●去年より電話でのその日の様子の連絡 が減った気がします。 ●毎回その日の活動内容や子供の状態を 伝えて頂いているので、分かりやすくて いいです。	●青い鳥での様子を知れる機会が増やせ るように検討します。 ●給食の内容の写真掲示については12月 に園だよりで掲載しましたが、ご意見を 踏まえ今後も掲載方法を検討していき たいと思えます。 ●様子の報告の連絡につきましては、ク ラスより違いはありますが、昨年と同じ 頻度で実施して来ましたが、タイミングな どで様子をお伝えする機会が少なくなっ てしまった場合もあると思いますので、 ご意見を共有し、定期的に連絡できるよ うに配慮します。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	66	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	62	4	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	59	4	0	3		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	63	1	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	64	2	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	38	11	2	14		
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	62	2	0	2		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	62	2	0	1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	58	4	0	4	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	64	2	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50	4	0	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>●半日クラス週回のため、訓練はしていないと思いますので、こちらの箇所とさせて頂きました。</li> <li>●パニックになる子供達が沢山いると思いますので、迅速な対応をお願いしたいと思っております。</li> <li>●保護者によるお迎え訓練は定期的にされていますが、非常時の園の対応マニュアルは保護者が併知しているか分からない。</li> <li>●週1回の半日クラスなので、非常時の事はあまりわかりません。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45	2	0	19	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	59	2	0	5	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	61	0	0	5	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	60	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●青い鳥で支援を受け、子ども親も毎日が安定しています。感謝しかありません。満足度の数値があるのなら200%です。もう少し幸福かと思うと思っております。</li> <li>●送迎のドライバーさん含め子どもにかかわる全ての職員が親切です</li> <li>●給食は青い鳥で色々なことを吸収して、家で嬉しそうに帰ってきます。職員の方のお陰だと思っております。</li> <li>●子供が登園を嫌がらずに、毎日元気にバスへ乗り込む姿を見ておりますので、(^^)ノ3=3=3、それが親にとってはとても嬉しく、安心して登園もさせる事が出来ているかと思っております。子どもが先生に接している姿を毎日目撃しておりますが！先生を、信頼しているんだなと思える行動をよく目にしておりますので(^^)♡</li> <li>●それも、安心して登園させる事が出来ている一つになっているかと思っております。子供の日々の成長を嬉しく思うと共に、先生方と一緒に同じ喜びを感じる事が出来ているかと思っておりますので！親子共々、大満足ですー♪(o-o)♪</li> <li>●とても満足しています。子どもも楽しく通っています。先生方も良く子どものことをみてくださり理解してくださるので安心して通わせてあげます。ありがとうございます。</li> <li>●1度も登園を嫌がった事が無い</li> <li>●毎朝、♪今日は♪子ども園♪青い鳥♪♪と聞いてどちらも楽しみにしています</li> <li>●本人が毎週楽しみにしているので、通って良かったなと思っています。</li> <li>●子供が行きたくないと気が乗らない時も、療育が始まればしっかり最後まで参加出来るようになります。親の私としては100%信頼して預けられるので感謝しています。</li> <li>●もう少し長く青い鳥で過ごして欲しいと思っております。</li> <li>●子どもが安心して通っており、想も手厚い支援をいただいていることを実感しております。</li> </ul>
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	55	10	0	1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	63	3	0	0	
							<ul style="list-style-type: none"> <li>●半日クラスに関しては2時間と時間が短いので避難訓練に児童は参加していませんが、職員は月に1回他クラスで避難誘導の訓練に参加しています。</li> <li>●非常時のマニュアルに関しては、周知の方法などについて検討します。</li> </ul>

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター青い鳥		公表日		令和7年2月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	24	0	●怪我に繋がる状況をつくらないように椅子の置き場、場面でしまう等を心がける。 ●その時々活動に合わせて、使用するものが分かりやすく提示できるように工夫されている。使用しないものは適宜片付け整理されている。 ●日頃の掃除では、ごみなどが落ちていないことはもちろん、危険なところはないか点検しながら行うようにしている。 ●安全第一な環境設定を心掛けている	●他クラス、他事業、他の職員業務に関心が無い、自主的な協力体制や積極性がみられない ●1日の流れを絵カード等を使って掲示することで、見通しを持って活動に参加できるためこれからも継続していきたいと感じました。また他室のある児に対しての環境設定として、他児との距離が近くなりすぎないように、職員が間に入ることで適切な距離感を保てるように心掛けています。情報伝達は、視覚提示カードなどを使用してその子の特性に合わせて工夫を行っておりまたスズレンなど落ち着ける環境がある。 ●プレイルームの音響機器が入っている棚（コンセント）の設定の工夫が必要そうです。 ●スイッチや紐が子どもにも触れやすい ●急速個別対応が必要となった際の部屋があると良いと思います。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	4				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	22	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24	0				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	5				
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21	3	●目標をたた頭の中で思うだけでなく、紙に書き出したりして自分の中の意思や思いを可視化しながら課題に向き合っていく。自分だけでは見つけにくい課題等は上司に相談するなど他者からの意見も取り入れる。 ●定期的な面談を行なっている。 ●会議等が定期的にあるので、子どもの実態が分かりやすい。 ●コーナーの担当者として、ホールプールの環境設定を定期的に変更し、児が飽きずにホールプールの時間を楽しく過ごせるよう意識しています。環境設定を変更する際には職員間で意見を出し合い、より多くのアイデアを集めるようにしています。 ●放課後の雑巾の件など、職員の負担を改善しようとして取り組む動きがあられた ●遊び研修やケース会議研修など複数の先生のお話しや意見を聞くことができ、新たな知識を得られる環境がある。	●正社員に向けての研修はなされているが、非常勤への研修が課題にあがる。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	2				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	4				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20	1				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	24	0				
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	1	●お子さんへの対応等について職員間で確認を行っている。 ●一人ひとりの特性を理解し、特性に沿った肯定的な支援を、したいと思っております。 ●帰りのバスの添乗の際には終わりの反省会に参加出来ないが、戻ってきた後に時間を見つけて振り返りの内容を聞く。 ●活動中での提供方法や展開方法が似たようなものになってしまうことがあるため、様々な先生のやり方を質問したり、自分で調べたりして園定文化しないようにする。 ●職員間で都度コミュニケーションを取る、夕礼での報告、共有等、子どもに対し統一した支援を行っている。 ●半日就園クラスや一日就園クラスに携わる日は、事前に個別支援計画を確認し、個別支援計画を意図して支援を行うようにしています。運動面や生活面だけでなく、社会面で他児とのコミュニケーションの取り方等、職員が仲介することや見本を提示することでより良い支援に繋がっています。 ●日々の活動における記録を1人ずつ行っておりまた支援計画に則した関わり方が担任のみではなく支援に関わる先生方に共有されている。	●クラスチームになりがち ●非常勤は、隙間時間（登園前等）を有効に使い、担任から前日の子の様子・クラス全体の様子聞き、新しい取り組みの有無を確認し、業務にあたるよう心がけている。担任・副担任がバス添乗研修等でお二人不在の際、朝の打ち合わせ等が出来ない日もある。 ●他クラスのことも積極的に知って行きたい。 ●午前中にその日によって異なるクラスに入るため、支援計画や活動に関して、理解しきれないままになっていることに気づきました。 ●振り返りの時間がないクラスもあり、それぞれの仕事もあるため個人での振り返りになってしまう機会が多い		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	1				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20	3				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	2				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	2				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	1				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	4				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	2		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20	4		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	19	5		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20	4		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	24	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	1		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報共有が行えるよう、お子さんの目標等を念頭におきながら関わるようにしている。</li> <li>●担任の先生とお話しながら、保護者に寄り添えるようにしている。</li> <li>●保護者への定期的な連絡を行っている。</li> <li>●月一回保護者登壇では、必ず保護者お一人お一人とコミュニケーションを心掛けている。</li> <li>●お休み等を電話で承る際には、熱の有無やその他風邪の症状、発症時期等より具体的なお話を伺っています。また、児が怪我をしてしまった際には、保護者の方に怪我の場所の確認していただくだけでなく、怪我をした時の具体的な状況をお伝えし、保護者の方が知らないことへの不安感や不遜感が無くなるよう意識しています。</li> <li>●家庭との連絡を密に行っており、児童が通う保育園や幼稚園、小学校などと情報共有を活発に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保護者と課題の共有が不十分</li> <li>●（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ参加したことがないためこれから参加したり、資料などをみて理解を深める。</li> <li>●電話が繋がらない等の連絡が取れない場合や連絡後も、提出物の未提出などが見られる。</li> <li>●時間調整等難しいこともあるが、園外交流が定着していくといい。</li> <li>●保護者から得た連絡帳などの情報を担任以外はなかなか知らない。大きなことがなかっただけでも知らないが、今朝の食事の有無や睡眠時間などは軽く共有しても良いと思う。</li> </ul>
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	21	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15	6		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21	1		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	8		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14	9		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21	3		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	21	1			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20	3		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23	1		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23	1	●活動内容やお子さんご様子について、お子さんが主体的に行えた望ましい行動は積極的に伝えていく。	●良かった点だけでなく具体的に、子どもの現状を伝えるようにする ●状況がわかるようにお話しすると共に、改善していけるように、よくお子さんを見ていくと、安心できるように伝えていきたい。 ●保護者からの問い合わせや質問に対して、まだ分からないことが多いためしっかりと上司に報告、相談、確認を必ず行うようにし、誤った情報や不信任、不安感に繋がらないようにする
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21	3	●お便りやマチコミなど様々な形態で保護者に共有をしていて良いと思う。 ●面談や保護者登園日などでご家族の方の気持ちや求めている支援について積極的に支援に取り入れようとしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	4	●保護者の方にその日の活動内容や様子をお伝えする時には、言葉遣いや伝え方に気を付けてながらお話しするように意識しています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21	2		
	41	定期的に通信等や発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	21	3		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	24	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	22	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16	6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	22	2	●定期的に対応を共有する機会が設けられている。 ●まず、1箇所にあつまり子どもを落ち着かせるように職員も態度、声かけを気をつける。また、人数把握を意識し、職員が声を掛けあいながら、安全な避難ができるよう心掛ける。	●非常時の訓練は定期的に行われているが、細かい職員の動きに不明な点が多いと感じる。基本的な災害時対応の確認が必要。 ●マニュアルがクラスに（更衣室？）一つ置いてあると、非常時も確認できるのでいいかな。→隙間時間を使って目を通す。 ●教室で行う鼻血、出血等の対応方法についても簡潔に説明されたものがあるといいのではないかな。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	23	1	●非常事態の避難訓練でまだ焦ってしまい判断が遅くなってしまうことがある。まず自分が焦らずに対応できるようにする。地震、火災時の対応の違い（ドアの開閉など）や避難経路を確認し、安全が守られるようにする。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	23	1	●定期的な避難訓練を行っている ●不意な避難訓練を重ねることで、実際に起きた時に役にたつと思う	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	22	2	●火災時の避難訓練では、出火場所や避難経路の確認、子供の安全を第一に考え避難するようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	3		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	2		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	20	3		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス青い鳥		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日 ~ 令和6年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年10月4日 ~ 令和6年10月25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターの頃からの継続した信頼関係と、就学前後での比較を基にした保護者との共有	定期的な面談や普段の様子を見てもらう参観日の設定	本人や保護者の変化や課題をより共有するための機会の設定の検討
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向け支援の充実	保護者向けの研修や懇談会等の充実方法の企画	保護者向けの研修等の検討
2	集会や活動にあった活動室等の空間の使用の方法	集会や事前に設定した活動での空間の使い方に工夫が必要	事前に、その日の活動の環境や状況に追って無理のないプログラム設定や環境調整を心がける
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス青い鳥

公表日 令和7年2月1日

利用児童数 53

回収数 16

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	0	●環境も体制も十分整備されていると思います。 ●十分整っておりです。 ●良いと思います	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	2	5	6		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	1	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	2	7		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	1		



	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	5	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	0	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	5	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	0	0	2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体的にとっても満足しています。本人が何より安心して楽しんでいることが分かるので1人1人の先生方にとっても感謝しています。</li> <li>●児童発達支援センターの頃からお世話になって、私も好きな場所なので満足してありますが小学校3年生までなのが良いです。</li> <li>●毎日クラスの時から青い鳥さんが大好きで男は週2回の放デイ利用ですが、初陽台が毎日あるのが嬉しいほど毎日楽しみにしています！</li> <li>●これからの成長母会はどのような方がりませんが、我が子には青い鳥さんの環境がとて合っているで小学3年生までというのがとても悲しいです。それはと親子揃って安心して通所させていただいております！</li> <li>●小学校に就学してから、通園中一緒に過ごした他のご承組が現在どのように過ごしているのかそれぞれ色んな思いを抱えて過ごしていると思うので、近況報告や情報交換の場という意味で同窓会のようなものがあつたらいいな と思っています。</li> </ul>
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	0	0	1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	
							●同窓会のような企画については、いただいたお意見を参考に検討させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月1日			
放課後等デイサービス青い鳥					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5	●空間の構造化を行い、目的別の机の配置を行っている。 ●2部屋用意することにより、目的によって移動したりしやすい。	●利用定員に対して部屋のスペースが狭いと感じることがある。利用定員が多いことよって児童が落ち着かないこともある。 ●小学生なので18名等のクラス人数になると1部屋だと療育室の空間が難しく感じる。 ●一部屋で療育を行うため、一人あたりの面積や荷物を置くスペースが少ない。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	3	●朝の打ち合わせを毎朝していき動きの把握ができる。ただ、固定化された職員だけでなくその日入ることになっている職員もそれに参加できるとより全職員が把握して働けると思う。 ●話し合いは出来るように心掛けているが、行事等重なってしまうと難しい部分もある。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	●視覚提示が入りやすい子だけでなく、クラス全体として提示を至る所に活用している ●目的別のコーナーを設定し、自分の好きな遊びを選択できるようにしている。集団での運動遊びや日課のマラソンで心身の発散を図っている。	●学校で不慣れな出来事や心配事、乗車する際気になることからのトラブル等から、子どもたちは不安定になることがある。二つの学校を続けて送迎が組まれた時、職員は焦りが生まれるので余裕ある送迎計画を立てる必要がある。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	●関係機関との連携は上司が行なっている。保護者との連携は電話での連携をもう少ししていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	お便りやマチコミ送迎など様々な形態で情報を共有できていると思う。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	●嘔吐しやすい子や、嘔みつきがある子などの共有はされているので関わりやすい。	●緊急時の対応等、理解していく必要があると感じました。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2		

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター青い鳥		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和6年10月4日		～ 令和6年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターや放課後等デイサービスとの連携した継続した支援につなげる事	今の課題に応じニーズと目的を整理した訪問支援の実施	対象園や学校を広げ、関係機関との連携を深めていきたい
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問職員が限られること	効果的な訪問支援の実施には多くのスキルが必要	訪問支援でのニーズの整理と職員の育成
2			
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター青い鳥

公表日 令和7年2月1日

利用児童数

回収数 6

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	0	0	2		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5	1	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	6	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	1		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6	0	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	0	0	2		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0		

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年2月1日

児童発達支援センター青い鳥

配布施設

9施設

回収数

9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	9	0	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	9	0	0		
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	9	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	8	1	0		
5	事業所からの支援に満足していますか。	9	0	0	●相談にも気持ちよく答えて頂き、連携が取りやすいです。卒業してお子さんの様子なども気にかけて下さり、嬉しく思います。これからも宜しくお願いいたします。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	



公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター青い鳥		公表日 令和7年2月1日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5	0	●訪問支援グループを置き、職員固定ができるとよりよい。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	●保護者や訪問先と目的や連携内容を明確にし振り返りをしやすくする	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5	0	●訪問先の担任がされている支援を尊重し、つぎに繋がる支援を話し合い提案していく。担任が無理なく気持ちよく支援ができるよう、「これなら出来そう!」という内容を一緒に考え提案。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5	0			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	●子育て支援センターと他園の情報共有ができています	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	0		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	●その都度訪問目的の共有ができています	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	1		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5	0	●はじめに、訪問目的、時間等流れを確認し、活動に支障がないようにしている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	0		
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0		

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		